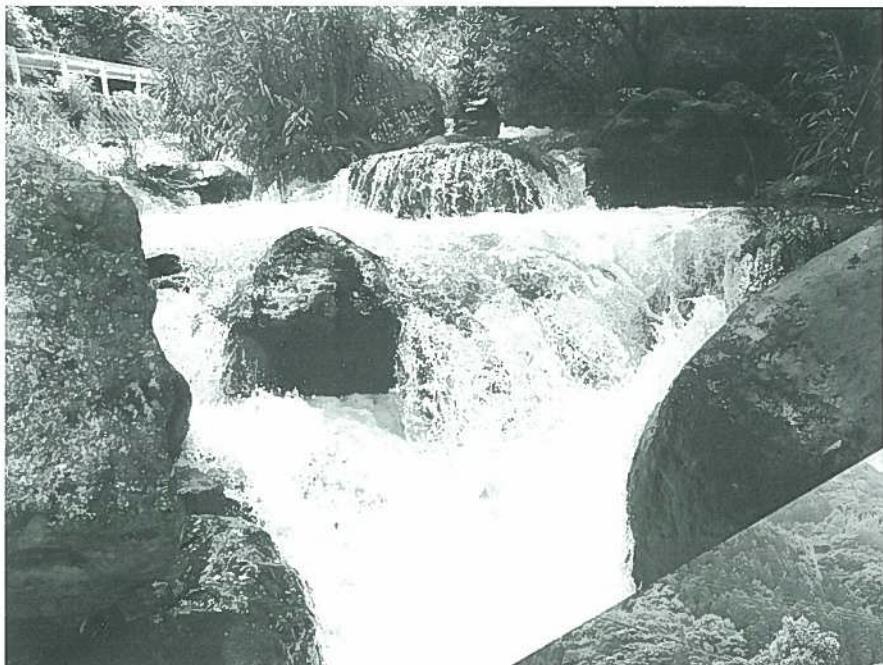


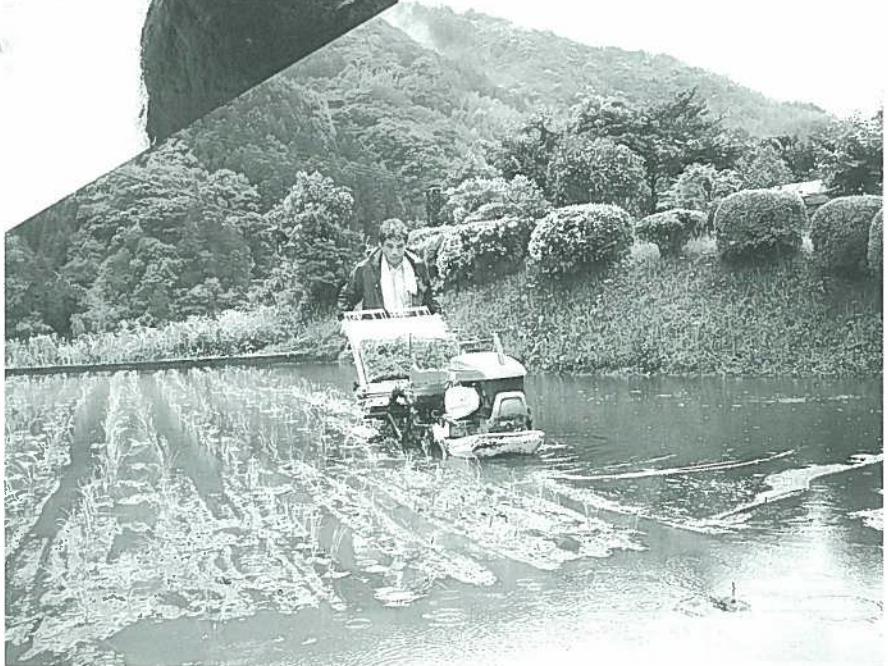
ひなかけ 議会だより

No.6
2011.7.15

発行編集：日之影町議会報編集委員会



溪流よみがえる



田植え急ピッチ

平成23年度一般会計・特別会計補正予算	• • • • • p 2
平成22年度一般会計・特別会計専決処分	
条例制定・改正	• • • • • p 3
一般質問	• • p 4~p 7

□平成23年度 一般会計補正予算(第1号)□

概算全般

6月
定例議会

歳入歳出予算総額 44億7,900万円

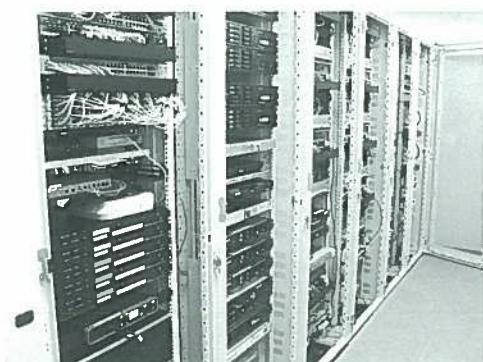
歳入歳出補正予算 4,726万円

歳 入

内訳 使用料及び手数料 75万円 県補助金 294万円
基金繰入金 3,600万円 雑 入 757万円

歳 出

内訳	議会費 (共済組合負担金)	△5万円
	総務費 (ケーブルネットワーク運用管理費 外)	3,636万円
	民生費	△636万円
	衛生費	△ 86万円
	農林水産業費	△662万円
	商工費	73万円
	土木費	△296万円
	消防費	100万円
	教育費 (給食センター施設改修工事 外)	1,782万円
	諸出金 (家畜防疫対策基金積立金 外)	757万円
	予備費	63万円



ケーブルネットワーク頭脳



現在の宮水小学校の給食室

平成23年6月定例議会は、6月7日に開会し、一般会計・特別会計の補正予算5件・報告1件・承認の件・条例改正及び制定4件・議長発議2件・議員発議1件の計22件の議案を審査し、原案のとおり可決・承認した。

一般質問は、6名が登壇し、町長・教育長に質問し、6月14日に閉会した。

特 別 会 計

特 別 会 計	歳入歳出補正額	補正後の額
国保事業会計	△ 1,585千円	800,786千円
簡易水道会計	120千円	72,826千円
介護保険会計	△ 5,803千円	582,764千円

専決処分

平成22年度補正

会計名	総額	補正額	主なもの
一般会計	5,373,019千円	291,169千円	財政調整基金費、公共施設等整備基金費
病院特別会計	685,723千円	△15,052千円	材料費、経費
国保特別会計	797,496千円	△46,925千円	保険給付費、保険事業費
奨学資金特別会計	9,338千円	138千円	積立金
介護保険特別会計	605,432千円	2,908千円	保険給付費
後期高齢者特別会計	51,508千円	△508千円	後期高齢者医療費広域連合納付金

条例改正

使用料及び手数料徴収条例

匠の里体験棟の使用料を徴収できる様にするもの。

健康保険法の改正によるもので、出産一時金を35万円から39万円に引き上げる。

国民健康保険条例

四時間以内 一・一〇〇円
四時間を超えるとき 二・二〇〇円

国民保険税条例

地方税法施行令等の改正によるもの

基礎課税額の課税限度額を1万円引き上げ51万円とする。

後期高齢者支援金等の課税限度額を1万円引き上げ14万円とする。

介護納付金課税額の課税限度額を2万円引き上げ12万円とする。

条例制定・改正

農林生産施設設置及び管理等に関する条例

横迫尾立地内に整備したハウスを追加するもの。
年間一坪当たり 一六八円

国民健康保険税条例

保険税を確保するための税率等の改正

一世帯当たり 13・3%の増

常任委員会所管事務調査報告

経済建設常任委員会

東日本大震災への対応に伴う地方税等の特例及び住宅借入金等、特別税額控除の適用期限の特例等の改正。

体制について、抜本的な見通しがなされる。

森林組合と共に、本町も、住民に、その内容を明確に伝えるべきである。

「」の「」は、作業班をはじめとする雇用の確保、今回、創設される森林経営計画の中での伐採後の植林などに貢献するものと思われる。

また、東日本大震災後の需要動向については県と共に、本町も、情報収集に努めることが、被災地の復旧復興と共に、今後の森林・林業・木材産業の振興に寄与するものと考へる。

西臼杵郡森林・林業活性化促進議員連盟総会

今回、西臼杵郡森林・林業活性化促進議員連盟の総会が開催され、平成23年度から24年度迄の2年間、次の方々が役員に就任致しました。

会長	大村直登	(臼之影)
副会長	松岡耕一	(五ヶ瀬)
幹事長	佐藤功	(臼之影)
監事	西川幸徳	(五ヶ瀬)
〃	馬原英治	(高千穂)

政府の作成した「森林・林業再生プラン」の中で、多くの施策・制度

一般質問

「本町の教育行政は」

飯干 静香



八戸小学校の複式学級

問 教育長
これまでの本町の学校教育をどのように捉え、これから益々小規模化していく本町の学校教育をどのように発展・充実させていかれるのか、その具体策は?

答 教職員の指導力が十分發揮できるように環境づくりに努める。
教職員の研修の充実
地域の方々の理解と協力の下に実施する体験学習

問 教育長
これまでの本町の学校教育をどのように捉え、これから益々小規模化していく本町の学校教育をどのように発展・充実させていかれるのか、その具体策は?

町独自で取り組む共通テストの実施。
特別支援員・複式学級解消職員の配置による学習支援及び指導の充実等。各学校の教育活動の情報発信等、特色ある教育活動を推進していく

「給食センター建設並びに小学校の統廃合は」

学校給食センター建設と並行して、複式学

級の多い小学校から、保護者や校区住民との統廃合についての話し合いを始め、ここ数年のうちに小学校を一校にしていくことが望ましいと考えるが:

答 教育長
学校給食調理に従事している正規職員の定年退職に伴う減少と、児童数減少等から、安全安心な学校給食を確保するため、来年夏から実施する。

工事を進めるに当たり、保護者への説明会は実施したが、共同調理のシステムがスタートする前に、何回か説明会を開く予定である。

町は、土地改良で運営し高い評価を得ている。太陽光発電については、家庭用光発電については、家庭用43戸、平底運動公園の門灯。天翔風力発電については、天翔大橋等利用活用。

問 町長
今日は、調査・研究したところとして風力発電について、本年七月から、教育懇談会をスタートさせていく中で、子供達の将来を見据えて、今後の状況を慎重に見極めながら、研究協議をしていくことで、推進していきたい。

問 町長
休耕田や耕作放棄地を利用した、太陽光発電導入の考えは??



太陽光と風力発電



「自然エネルギーによる地域振興対策は」

甲斐 喜夫

「自然エネルギーによる地域振興対策は」

問 町長
どうする? どう考える? 本町の自然エネルギー対策と利活用は!

では、平底半島、大楠地区、石崎。水力発電については、大人、小崎農業用水、見立鉱山跡等々。年間水量風力不足。発電コストが高い事等が問題点。近いうち、話し合いの場の設定がなされているのは、小崎用水を利用した、小水力発電所建設。

ては、平底半島、大楠地区、石崎。水力発電については、大人、小崎農業用水、見立鉱山跡等々。年間水量風力不足。発電コストが高い事等が問題点。近いうち、話し合いの場の設定がなされているのは、小崎用水を利用した、小水力発電所建設。

町長

耕作不適地は23ha相当あるが、設備投資・メンテナンス等々の問題で厳しい状況である。

「自然災害への備えは」

坂本和雄

町長

新しい光エネルギー産業の対策導入により農業経営等にも利用でき新しい産業としての雇用も創出ができるのではないかと考える。

町長

数名体制程度しか見込めないのでないのではないかと考えている。電気を農業経営に活かす雇用の創出についても厳しいと考える。

問 太陽光については検証結果、実証例として一ヶ

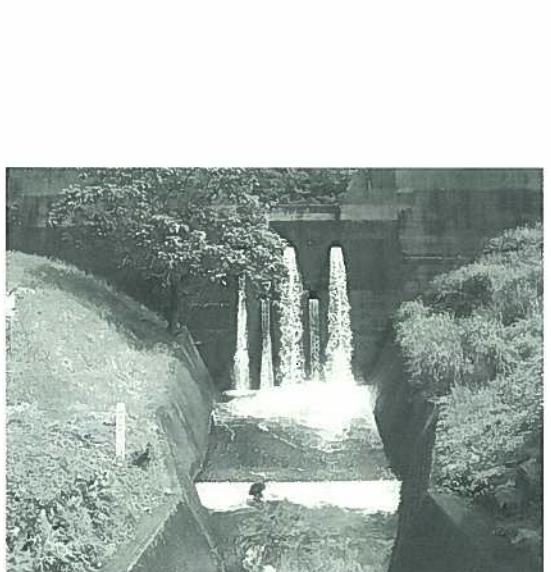
月2万円相当節約できること

いう事も言われていることから、公的施設等、本町には沢山あるが、モデルとして取り組んでみてはどうか?

町長

今しばらく国の動向、県の動向をじっくり静観し、じっくり勉強して、今後備えていきたい。

問 今期の異常渇水時における飲料水確保の実態と今後の課題は。



川の詰の砂防ダム

町長

今期の異常渇水時における飲料水確保の実態と今後の課題は。

町長

今年の1月から3月の日立影雨量観測所では、57ミリ、4月の雨量は16・7ミリであり、過去最小の記録であった。この異常渇水により2月中旬から5月中旬頃ま

で飲料水が極度に不足した集落が生じた為、水槽車による搬送、給水タンクの設置等により、飲料水の確保に努めた。

町長

今後は、取水状況の現状を調査し、改修するとともに、新たな水源の確保等に努めたい。

町長

6月1日現在、本田の植え付けは3%・苗代の播種状況は町内平均60%程度であり、例年に比べ3週間ほど遅れである。この為、本田への植え付けは6月下旬から7月上旬が最盛期と見込まれる。以前は半夏(7月2日)の時期が最盛期であったことからして、7月10日までに終われば作付けの遅れによる収穫への影響はないと考える。

町長

6月1日現在、本田の植え付けは3%・苗代の播種状況は町内平均60%程度であり、例年に比べ3週間ほど遅れである。この為、本田への植え付けは6月下旬から7月上旬が最盛期と見込まれる。以前は半夏(7月2日)の時期が最盛期であったことからして、7月10日までに終われば作付けの遅れによる収穫への影響はないと考える。

問 集中豪雨時に備えた災害対策は。

町長

本格的な梅雨、台風時期を迎えるに当たり、本町におきましても「土砂災害全国統一訓練」に併せて、6月12日見立地区を対象に土砂災害や河川の氾濫を想定した訓練を実施します。

町長

九州電力の原発も所有する6基のうち3基が定期検査のため、停止状態になると聞いています。点検の終りでは、夏場の電力不足を解消するため、再稼働の必要性を訴えておりますが、地元住民の不安の声もあることから、再稼働の見通しは立っていないようございます。

町長

九州電力の原発も所有する6基のうち3基が定期検査のため、停止状態になると聞いています。点検の終りでは、夏場の電力不足を解消するため、再稼働の必要性を訴えておりますが、地元住民の不安の声もあることから、再稼働の見通しは立っていないようございます。

町長

また、例年行なつておりま

す「危険箇所調査」を6月22日には関係機関と連携して行ないます。

町長

本町といたしましても、出

先施設を含め、こまめな消灯、エアコン温度の適正化、クーラビズの期間延長等、節電に努めています。町民の皆様に對しても、節電への啓発を、広報誌や告知放送を通じて徹底したい。

節水についても、告知放送等を通じ啓発を図つてまいります。

「安心安全対策は」

杉本道生

問 今後災害対策本部は、より安全な町民センター若しくは、その周辺に設置しては。

町長 本部は、安全な高台がベターと考える、今後検討したい。

問 時のバックアップ機能として、維持管理費はかかるが存続すべくシミュレーションしてはどうか?

杉本道生

町長 災害時に光ケーブルは、断線する恐れがある為、予備としてケーブルの備蓄を予算計上しているが防災無線存続も検討してみたい。

「飲料水対策について」

身障者必需品と併せて整備が必要ではないか。

町長 今後取り組みたい。

問 災害時の要援護者への対応を伺うが、現在、身障者用トイレと受水施設（スツクタンク）が整備されているのは、天神荘と保健センターだけである。公の施設に

町長 検討してみたい。



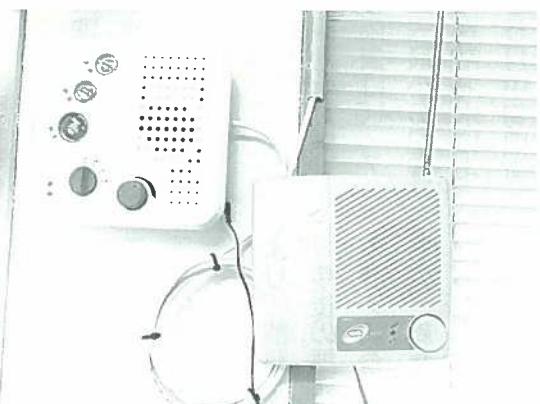
活性化センター

「町制60周年記念行事等への取り組みは」

福田裕生

問 高巣野小学校区国道沿いにおいて飲料水不足により、個人はもとより学校、福祉施設等の運営に大きな支障が出た。学校では、今夏のプールの使用が出来ないとのことである。更に深角地区の広域農道トンネル整備により水源への影響が危惧される。飲料水不足が地域発展の障害になつてはならない。根本的に

町長 現状は、十分認識しているが、町の財政負担が少く済むように有利な制度事業等の活用を県に相談・要望しながら何とか24年度目途に取り組めるようにやつていが。



告知放送施設

問 今後災害対策本部は、より安全な町民センター若しくは、その周辺に設置しては。

町長 本部は、安全な高台がベターと考える、今後検討したい。

問 時のバックアップ機能として、維持管理費はかかるが存続すべくシミュレーションしてはどうか?

杉本道生

町長 災害時に光ケーブルは、断線する恐れがある為、予備としてケーブルの備蓄を予算計上しているが防災無線存続も検討してみたい。

「飲料水対策について」

身障者必需品と併せて整備が必要ではないか。

町長 今後取り組みたい。

問 災害時の要援護者への対応を伺うが、現在、身障者用トイレと受水施設（スツクタンク）が整備されているのは、天神荘と保健センターだけである。公の施設に

町長 検討してみたい。

問 今後災害対策本部は、より安全な町民センター若しくは、その周辺に設置しては。

町長 本部は、安全な高台がベターと考える、今後検討したい。

問 時のバックアップ機能として、維持管理費はかかるが存続すべくシミュレーションしてはどうか?

杉本道生

町長 災害時に光ケーブルは、断線する恐れがある為、予備としてケーブルの備蓄を予算計上しているが防災無線存続も検討してみたい。

「飲料水対策について」

身障者必需品と併せて整備が必要ではないか。

町長 今後取り組みたい。

問 災害時の要援護者への対応を伺うが、現在、身障者用トイレと受水施設（スツクタンク）が整備されているのは、天神荘と保健センターだけである。公の施設に

町長 検討してみたい。



初期消火に威力を発揮する消防栓

問 公民館統合、23年度の取り組みについて

統廃合を強制的に行うことには出来ない。構成世帯数の少ない公民館は、近隣公民館との統合も選択肢の一つとし、公民館の位置付けやり方を協議する場を設けてもらひつよつお願いする。必要

報 告

平成22年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

この報告は、地方自治法の規定により、平成22年度からの繰越事業となるもので、主なものとして、移動通信用鉄塔整備事業外22件で、約4億18,257千円

問 町制施行60周年記念事業の現段階での取り組みについて

教育長 各種事業を計画し例年行なっている行事について、町民に啓発を行なっている。

また、町制施行30周年（昭和56年）に埋設したタイムカプセルの開封を11月に行ない、式典を宮水小学校体育館で9月30日に行なう予定、実行委員会を組織し内容を詰めていく。

問 公民館統合、23年度の取り組みについて

更に、記念DVDを町内戸に配布する予定である。

「消火栓の設置は」

甲斐健司

問 民族資料館としての活性化センター活用と展示方法について

町長 今まで二箇所に別れて展示していた資料を、一箇所にまとめて一度に時系列委員会も支援していきたい。

将来的には、旧商工会の竹細工も展示予定である。また、PR方法については、告知放送、町広報紙等を通じ、定期的に知らせる。小中学校の社会科の学習に活用したい。



問 火災時の初期消火活動における、消火栓の役割は大であると思うが、積極的な設置の推進は？

町長 設置がなされていない地区においては、飲料供給施設の配水池の容量が小さいことや、給水管が小さいため、設置出来ない状況にある。

選挙管理委員会補充員

甲斐 駿明氏	(深角)
平田 武利氏	(八戸)
羽賀 春男氏	(宮城)
田中久美子氏	(大人)

を選任することを議決した。

■議会推薦の農業委員

松本貴美子氏	(矢形の的)
藤原 洋子氏	(新畠)

を推薦することを議決した。

人事案件

選挙管理委員会委員

飯干 忠秋氏	(椎谷)
高橋 港夫氏	(東日之影)
甲斐 勝子氏	(新日之影)
佐藤福一郎氏	(平清水)

を選任することを議決した。

町民こぞつて健康づくりに挑戦

奉仕作業前のラジオ体操をされる神影集落のみなさん。



わたり初め



議会のうごき (平成23年4月~平成23年7月)

4月19日(火)ひのかげケーブルネットワーク開局	18日(水)あゆみの会総会
19日(木)全員協議会 記念式典	例会(閉会) 各常任委員会等打ち合わせ
23日(土)第12回石垣の村棚 田まつり	西臼杵郡林活議連 総会(高千穂)
24日(日)第25回神楽まつり	会所管事務調査 決算審査(病院)
26日(火)JA通常総代会	老人福祉大学並びに高齢者教室入學
27日(水)議会運営委員会及び全員協議会 政治倫理審査委員会	員会研修(諸塙村)
28日(木)西臼杵郡林活議連役員会	災害危険箇所調査
29日(金)第55回国定公園・傾山山開き	観光協会総会(活性化センター)
5月9日(月)自治公民館総会	21日(土)新畠橋竣工式
10日(火)総務文教常任委員会 所管事務調査	22日(木)議会報編集委員会
(熊本阿蘇)	23日(木)宮崎県議長会臨時総会(宮崎)
12日(木)資源等調査特別委員会(深角地区)	24日(金)行財政改革特別委員会
15日(日)「赤十字 恋和神 チヤリ」「ティーコン サート」	25日(火)第48回県道宇納間日之影線整備促進期成同盟会総会
16日(月)商工会第51回通常総会	26日(水)議会報編集委員会
16日(月)~18日(水)	27日(木)議会報編集委員会
13日(月)議会運営委員会研修(高千穂)	28日(火)第39回公民館対抗バレーボール大会
11日(月)九州中央自動車延岡線建設促進決起大会	29日(水)議会報編集委員会

編集後記

心配された水不足も解消しましたが、6月初旬までは過去に無い小雨でした。最近は過去に経験の無い事が頻繁に起き、天候も不安定で、自然が人類に警鐘しているのではと考えさせられます。先の大震災の復興を願う一方で、我々はこの現実を受け止め、歴史に学んで行く事が被災された方々に報いる事だとも思います。

今から夏本番を迎える中豪雨や自然災害等に備え、危険箇所や避難場所の把握等も必要です。

本年度は町制施行60周年を迎え、今後様々なイベントも企画されています。時節柄、皆様方には健康管理に留意されていました。

N・K

